

LAN 制御プロトコル for SQE1J

Ver. 1.00

目次 / Contents

1. LAN 制御コマンドプロトコル [NTCONTROL].....	2
2. ユーザー名 / パスワード 変更方法.....	4

1. LAN 制御コマンドプロトコル [NTCONTROL]

LAN 経由で制御コマンド通信を行う場合、あらかじめ管理者アカウントの設定をしておく必要があります。

また、事前に対象ディスプレイの IP アドレスとコマンド通信用のポート番号を確認してください。なお、対象ディスプレイへは IP アドレスとポートを指定して TCP により接続します。

IP アドレスならびにポート番号はネットワークメニューから確認できます。ポート番号の初期設定値は 1024 です。

SQE1 ではパナソニック製プロジェクターと共通のプロトコルで通信を行います。

パナソニック製プロジェクターとパナソニック製液晶ディスプレイを同一のシステムで制御する場合に適しています。

LAN 経由の制御コマンドとして使用できるコマンドは、シリアル制御で使用するコマンドと同じです。コマンドの詳細については販売店にご相談ください。または、以下のサポートサイトをご参照ください。

業務用ディスプレイ【まかせなサイト】 <https://biz.panasonic.com/jp-ja/products-services/prodisplays>

シリアル入力経由で複数のディスプレイにコマンドを送る環境にて、特定ディスプレイにのみ制御コマンドを送信するために Display ID を指定したコマンドを送信する方法がありますが、LAN 経由の制御コマンドでは ID 指定は不要です。操作対象のディスプレイに ID 指定なしのコマンドを送るようにしてください。

●接続方法

- 1) ディスプレイの IP アドレスとポート番号を確認してディスプレイへ TCP 接続してください。
- 2) TCP 接続に成功すると、ディスプレイから応答があります。

表 1-1 ディスプレイからの応答

データ部	空白	モード	空白	乱数部	終端記号
『PDPCONTROL』 (ASCII 文字列)	「 」 0x20	1 0x31	「 」 0x20	『zzzzzzzz』 (ASCII コード 16 進数)	(CR) 0x0d
10 バイト	1 バイト	1 バイト	1 バイト	8 バイト	1 バイト

モード = 1 (固定)

- 3) MD5 アルゴリズムを用いて、以下のデータから 32 バイトのハッシュ値を生成してください。生成したハッシュ値は次のコマンド送信で使用します。

“xxxxxx:yyyyy:zzzzzzzz”

xxxxxx : 管理者アカウントのユーザー名 ([ネットワーク] - [管理者アカウント] - [ユーザー名])

yyyyy : 管理者アカウントのパスワード ([ネットワーク] - [管理者アカウント] - [パスワード])

zzzzzzzz : 手順 2) で取得した 8 バイトの乱数

●コマンド送信

以下のコマンド形式にて送信してください。

表 1-2 送信データ

ヘッダー		データ部	終端記号
ハッシュ値 (上記「接続方法」参照)	‘0’ 0x30	‘0’ 0x30	コマンド[制御/問い合わせ] (ASCII 文字列)
32 バイト	1 バイト	1 バイト	不定長

●コマンド応答

コマンドの応答は次の形式になります。

表 1-3 応答データ

ヘッダー		データ部	終端記号
‘0’ 0x30	‘0’ 0x30	応答データ (ASCII 文字列)	(CR) 0x0d
1 バイト	1 バイト	不定長	1 バイト

●エラー応答

エラーが発生した場合の応答は次の形式になります。

表 1-4 エラー応答

エラーメッセージ (応答データ)		終端記号
"ERR1"	未定義の制御コマンド	(CR)
"ERR2"	パラメーター範囲外	0x0d
"ERR3"	ビジー状態または受け付け不可期間	
"ERR4"	タイムアウトまたは受け付け不可期間	
"ERR5"	誤ったデータの長さ	
"ERRA"	パスワード不一致	
"ER401"	コマンドを処理した結果、エラー	
4 バイトまたは 5 バイト		1 バイト

2. ユーザー名 / パスワード 変更方法

メニューの [設定] > [ネットワーク] > [管理者アカウント] を開き、ユーザー名とパスワードを変更してください。